※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（東京書籍）						
副教材等	「カラー版新国語便覧」（第一学習社）等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、国語力の基礎を作ります。この１年間は非常に重要だと心得てください。
この基礎力が下支えとなって、２・３年生における応用力が身についていきます。基礎力をきちんと身につけておくことにより、さまざまな進路に対応できるようになるとともに、生涯にわたり活用できる国語実践力が養われます。
・「基礎力」とは、具体的には、正確な読解力と他者に分かりやすく伝える表現力です。「現代の国語」では、他者の考えを正確に聴く・読むことを通して、他者の意見を理解し自己の見識を高めるとともに、自分自身の意見を他者に伝わるように述べる・書く能力を身につけてほしいと思います。自分の読解・表現した内容が視野の狭いものであったり、独善に陥っていたりしないかをその都度検証しながら、この力をより高めていってください。
・グローバル・リーダーをめざす人として、現代社会における様々な事象や問題に対する深い見識を身につけてほしいと思います。
・授業の予習では言葉の意味調べはもちろん、本文を前もって読み、理解できなかったところを真剣に思考しておいて下さい。読解力や思考力の向上は、家庭学習が基礎となってきます。
・高校生として自己管理をきちんと行い、提出物などの期限は必ず守ってください。

2　学習の到達目標

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
（２）論理的な思考力、豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に対して他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ［教材］ 「真の自立とは」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：筆者の提示する現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について、考えを深めている。 c：本文が取り上げた問題や、事柄に関心を持ち自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ［教材］ 「水の東西」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：日本と西洋の見方という対比構造を把握し、内容を読み取っている。 c：日本人の感性の特質に対する関心を持とうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人に与えた影響を読み取り、考えを表現する。 ［教材］ 「羅生門」(プリント)	a：語句の意味や比喩などの修辞を理解している。 b[書]：小説の末尾から受ける印象について、自分の考えをわかりやすく記述している。 c：下人の心情や行動を理解し場面の推移を捉え、下人の生き方について意見を持っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート
	言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ［教材］ 「言葉は「ものの名前」ではない」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：具体例をもとに、言葉の「意味の幅」がどのように決まるのかを確認し、「もの」と言葉の関係を読み取っている。 c：本文が取り上げた問題や、事柄に関心を持ち自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2	生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。 ［教材］ 「生物の多様性とは何か」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 b[読]：筆者が定義する「動的平衡」の意味を理解し、それを構成する要素の結び付きが多様であることを理解している。 c：言葉の働きについて考えながら本文の内容を把握しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。 ［教材］ 「広告の形而上学」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：引用されたマルクスの言葉の意味を明らかにし、比喩の示す内容をについて理解している。 c：文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	〈私〉が尊重される現代社会におけるデモクラシーが抱える課題を理解し、視野を広げる ［教材］ 〈私〉時代のデモクラシー	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：本文中の表現の意味に注意しながら「今の時代」がどのような時代なのかを、を理解している。 c：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート
	近代化と時間の捉え方の変化との関係を論の展開と対比の構造から読み取る。 ［教材］ 「時間と自由の関係について」	a：主張と論拠など情報と情報との関係を理解している。 b[読]：近代化と時間の捉え方の変化との関係を理解している。 c：自由と時間の関係について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	暇を得た社会の中で、個人はどう生きればよいかについて、引用と主張の関係に注意して読み取る。 ［教材］ 「暇と退屈の倫理学」	a：主張と論拠など情報と情報との関係を理解している。 b[読]：余裕のある社会における「『好きなこと』」の意味を考え、筆者の問題意識を理解している。 c：本文で示された「他者理解」の可能性について関心を持とうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	「私」の富士に対する思いの変化などをもとに作品の主題について考える。 ［教材］ 「富岳百景」（プリント）	a：比喩などの修辞について理解を深めている。 b[書]：作品のタイトルの意味を、「私」の富士山に対する思いの変化と関連させてまとめている。 c：登場人物の心情の変化について読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	相手に伝わるようにおすすめの図書を紹介する。 ［教材］ 「本を紹介する」	a：相手に伝わりやすい表現や言葉遣いを理解している。 b[話]：自分の意見が相手に伝わるように話の展開を構成している。 c：積極的に伝わりやすい表現を考え、説明や発表をしようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	発表

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間